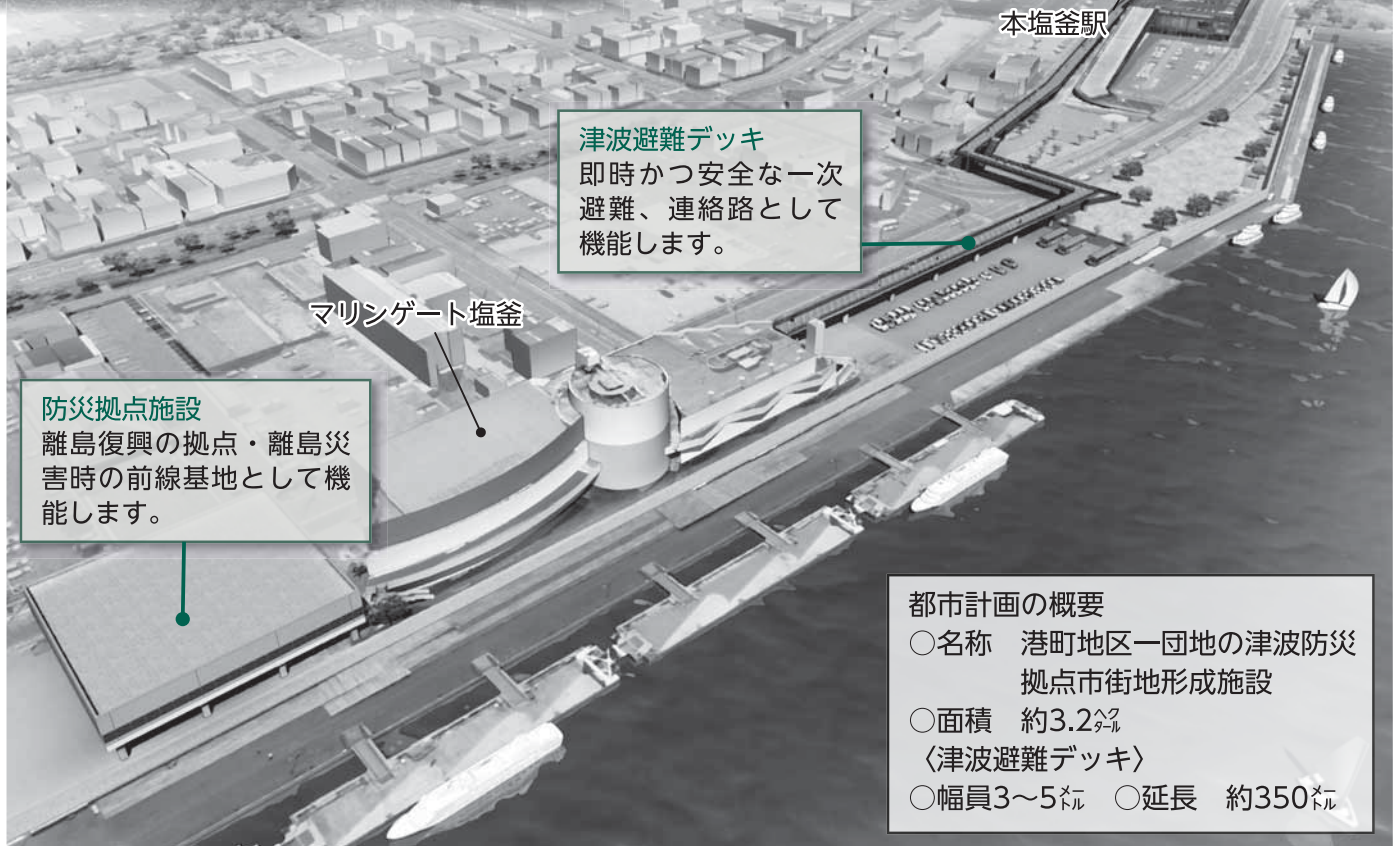


港町地区津波復興拠点整備事業

津波避難デッキと防災拠点施設の設置を計画しています

避難デッキのイメージ



津波避難デッキ
即時かつ安全な一次避難、連絡路として機能します。

防災拠点施設
離島復興の拠点・離島災害時の前線基地として機能します。

- 都市計画の概要**
- 名称 港町地区一団地の津波防災拠点市街地形成施設
 - 面積 約3.2㏊
〈津波避難デッキ〉
 - 幅員3~5㏎ ○延長 約350㏎

港町一丁目地区

津波避難デッキと防災拠点施設の整備を行い、津波発生時に備え、地域の防災力を強化します

港町一丁目地区では付近に適切な高台がなく、高架線との関係上、かさ上げによる津波対策が困難なことから、津波避難デッキを整備することにより、観光客や車両からの避難者を安全に一次避難させます。

マリングート塩釜は災害発生時でも浦戸諸島への交通拠点として、また防災救援ターミナルとして重要な役割を担っています。また、隣接して設置する防災拠点施設は、平常時は地域活力や交流の拠点として、災害時は浦戸地区の災害対策の前線基地として情報や物資の拠点機能を果たします。これらの施設と周辺商業施設などを避難デッキにより結び、災害時の拠点施設として連携を強化します。

今回、復興交付金事業費の追加配分を受け、平成26年度の工事着手をめざして都市計画手続きを進めています。

☎ 復興推進課都市基盤復興係 ☎ 364-1111 (内346)

災害公営住宅の建設工事が進んでいます



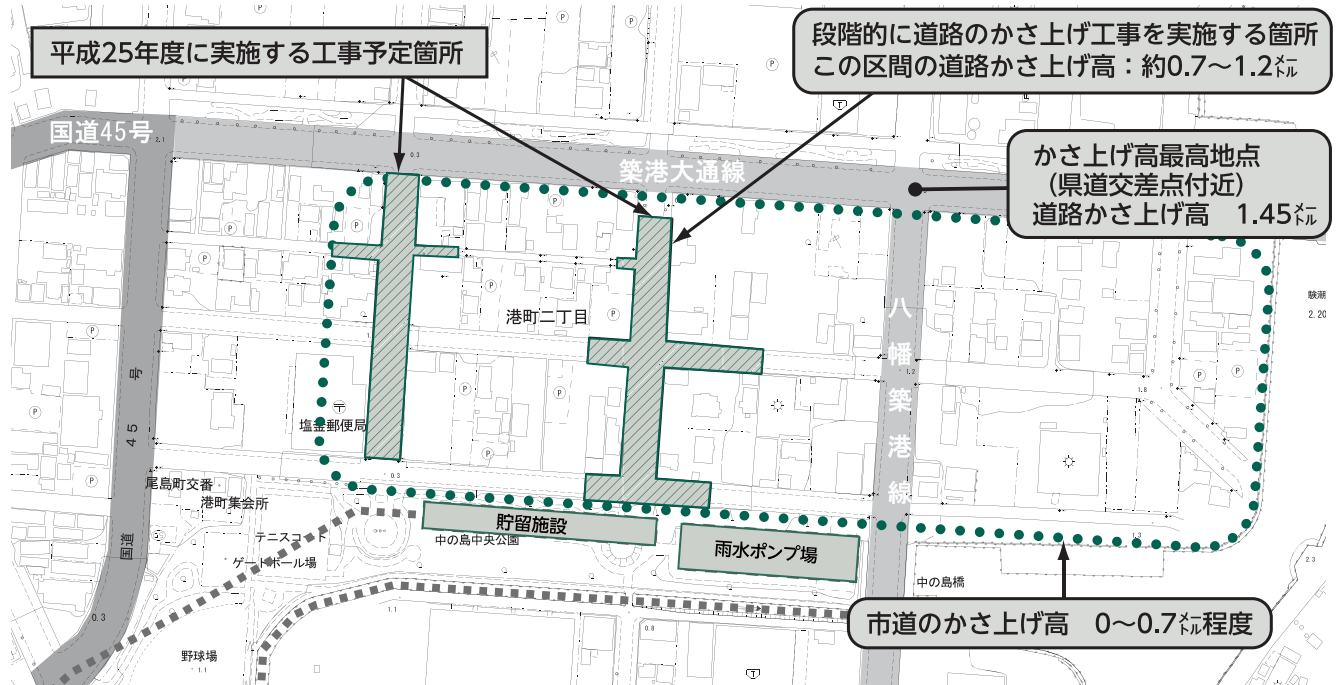
←伊保石地区
土地の区画道路が整備され、電柱が立ちました。間もなく建築工事に入ります。

錦町地区→
住宅に接続する道路拡幅工事と造成工事を行っています。



港町二丁目地区 道路のかさ上げ整備を進めています

港町二丁目地区では、東日本大震災の津波被害により地区全体が最大で約1.0m地盤沈下し、大雨や高潮で道路冠水などの被害を受けています。地域の防災性を向上させ、安心して暮らせる環境を確保するため、ポンプ場などの下水道施設を増設し、排水機能を強化します。また、県道のかさ上げ・拡幅整備と併せ、市道のかさ上げ整備を行います。すでに第1期工事の発注を行い、段階的に工事を進め、平成27年度までの完了を予定しています。



第6回の復興交付金事業計画採択事業をお知らせします

復興交付金事業計画の第6回となる申請を行い、平成25年度分の事業費として6事業が採択されました。工事費を中心に約7億円の事業予算が追加配分され、これまでの配分額の合計は57事業、約308億円となり、復興事業を加速していきます。

○第6回申請により採択された事業と事業費

(単位：千円)

事業名	交付対象事業費	事業内容
新浜町杉の下線道路事業	369,620	藤倉二丁目地区土地区画整理事業と一体的に実施する道路拡幅
藤倉地区道路事業 (区画整理関連)	119,739	藤倉二丁目地区土地区画整理事業に関連した道路整備
港町地区津波復興拠点整備事業	128,000	実施設計費および工事費の増額
海岸通地区震災復興市街地再開発事業	60,500	事業検討エリアが拡大したことによる事業計画作成費の追加
藤倉二丁目地区下水道事業	27,058	藤倉地区の排水機能改善のための下水道施設整備
効果促進事業の一括配分	35,280	津波復興拠点整備・市街地再開発に係る関連事業
合計	740,197	

東日本大震災災害義援金の配分について (第5次配分)

宮城県義援金配分委員会において義援金受付団体分と宮城県受付分の配分基準が決定されました。現在、市では支給に向けた準備を進め、10月中旬に支給予定です。

義援金配分単価 (単位：千円)

支給対象		義援金受付団体	宮城県
		第五次配分	第四次配分
人的被害	死者・行方不明者	20	
	災害障害見舞金対象者	20	
お津ける浸水区域被害に	全壊	60	10
	大規模半壊	50	
	半壊	40	
母子・父子世帯		50	10
高齢者・障害者施設入所者など		50	10

生活福祉課 ☎364-1131

復興ニュース

根本復興大臣が塩竈市の復興状況を視察しました

7月24日、根本復興大臣が本市を訪れ、魚市場や水産加工業者の工場を視察しました。続いて行われた意見交換会では、復興に向けた取り組みの現状について市から説明を行い、さらなる国の支援を要望しました。



▲魚市場を視察する根本復興大臣

復興推進課総務係 ☎364-1111 (内線333)